

福祉生活病院常任委員会資料

(平成29年10月6日)

【件名】

- 1 第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果について
(障がい福祉課)・・・1
- 2 平成28年度就労系障害福祉サービス事業所の工賃実績について
(障がい福祉課)・・・4

福祉保健部





第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果について

平成29年10月6日

障がい福祉課

“手話の聖地”鳥取県に全国の高校生が集結し、手話を使ったパフォーマンスの表現力を競い合う「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」(以下「大会」という。)を下記のとおり開催しました。

記

1 大会の概要

- (1) 開催日時 平成29年10月1日(日)午前9時15分から午後5時まで
- (2) 開催場所 とりぎん文化会館 梨花ホール(鳥取市尚徳町101番地5)
- (3) 演技内容 手話を使った歌唱、ダンス、演劇、コント、落語などのパフォーマンス
- (4) 参加資格 全国の高等学校・特別支援学校高等部等に在籍している高校生
- (5) 司会、ゲストパフォーマー、審査員

内容	氏名(敬称略)	よみ	役職等
演技司会	早瀬 憲太郎	はやせ けんたろう	学習塾「早瀬道場」代表
	三城 千咲	みき ちさき	モデル・手話パフォーマー
総合司会	近藤 泰郎	こんどう たいろう	NHK鳥取放送局アナウンサー
ゲストパフォーマー	SoulImpression × SoulOBOG	そうるいんぷれっし よん	聴覚障がい者が在籍する国立大学法人筑波 技術大学産業技術学部のダンスサークル
審査員長	庄崎 隆志	しょうざき たかし	演出家・俳優
審査員	今村 彩子	いまむら あやこ	映画監督
	小中 栄一	こなか えいいち	全日本ろうあ連盟副理事長
	古川 鈴子	ふるかわ すずこ	手話通訳士・社会福祉士
	中野 佐世子	なかの さよこ	手話ニュースキャスター・手話通訳士
	高橋 千枝	たかはし ちえ	鳥取大学地域学部准教授・臨床発達心理士
スペシャルサポーター	山根 千佳	やまね ちか	タレント(本県出身)

- (6) 来場者数 約1,800人
- (7) 大会の観覧 自由席(入場無料)
- (8) 出場チーム 予選参加申込みのあった54チーム(55校)(27都道府県)のうち、予選審査を通過した20チーム(21校)(14都道府県)の精鋭が大会に出場

[内訳]

北海道1、宮城県1、東京都2、神奈川県2、石川県1、山梨県1、愛知県3、京都府1、奈良県2、鳥取県2、広島県1、福岡県1、熊本県1、沖縄県1

(鳥取県からは、鳥取城北高等学校及び境港総合技術高等学校の2校が出場した。)

(9) 同時に開催した催し

- ア あいサポート・マルシェ(1階フリースペース等)
障がい福祉サービス事業所による飲食物や雑貨等の販売
- イ 手話カフェ(1階展示室)
米子市にある手話カフェ sign によるドリンク類の提供。
- ウ 鳥取聾学校作品(写真)展(1階展示室)
鳥取聾学校生徒による写真作品の展示コーナー
- エ ウェルカムステージ(1階フリースペース)
今年の鳥取しゃんしゃん祭りでグランプリに輝いた百花繚蘭(ひゃっかりょうらん)による傘踊り
- オ 県内高校生(2校)の実習製品等の販売コーナー(1階フリースペース)
鳥取湖陵高等学校(農作物等)、境港総合技術高等学校(缶詰等)が出店
- カ 鳥取市在住デザイナーClara(くらら)氏のアートワークショップ(1階展示室)
- キ 公式グッズ販売コーナー、鳥取県特産品販売コーナー、鳥取県聴覚障害者協会販売コーナー、協賛企業PRコーナー(1階フリースペース)
- ク 手話パフォーマンス甲子園紹介コーナー(1階・2階会場入口前)
大会の紹介や過去の大会の様子を伝えるパネル展示、過去の大会の映像コーナー

出演者の集合写真



(10) サテライト会場(小ホール)

約400席のサテライト会場を小ホールに用意し、大型スクリーンにより大会の様子を放映した。

2 表彰チーム・審査方法

(1) 入賞チーム及び表彰内容

表彰内容	チーム名	贈呈
優勝	奈良県立ろう学校 ※ (奈良県)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル(金)、優勝旗、 副賞(東京ディズニーリゾートパスポート+旅行券)
準優勝	きょうわ 杏和高等学校(愛知県)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル(銀)、盾、 副賞(鳥取県特産品)
第3位	大泉桜高等学校・ 立川ろう学校(東京都)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル(銅)、 副賞(鳥取県特産品)
審査員特別賞	まわし 真和志高等学校(沖縄県)	表彰状、副賞(鳥取県特産品)
全日本ろうあ 連盟賞	くまもとろう 熊本塾学校(熊本県)	各団体から、表彰状及び副賞を贈呈
日本財団賞	鳥取城北高等学校 (鳥取県)	
鳥取県聴覚 障害者協会賞	たつるはま 田鶴浜高等学校(石川県)	

※ 「命のつながり」をテーマにした独特でユーモアのある演劇で、1人1人が一生懸命演じることができたことに加え、その技術力の高さが評価され、見事優勝に輝いた。

(2) 審査方法(6名の審査員の審査得点の合計は最大300点。)

種別	人数	審査項目	配点
ろうの審査員	3名	○手話の正確性・分かりやすさ	30点
		○演出力・パフォーマンス度	30点(合計60点)
聞こえる審査員	3名	○演出力・パフォーマンス度	40点

表彰式(優勝)



チーム演技の様子



3 交流会の開催

大会前日の夜、出場高校生や司会、審査員などの大会出演者や来賓、関係者一同が会する交流会(立食パーティー形式)を開催した。

- ア 開催日時 平成29年9月30日(土)午後6時から8時まで
- イ 開催場所 ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間(鳥取市今町二丁目153番地)
- ウ 出席者 出場高校生、チーム引率者、1(5)の出演者、来賓、その他関係者(約250人)
- エ ゲスト 大阪パントマイムグループ
(1978年に聴覚障がい者によって結成。今までに全世界で約600回公演の実績あり。)

交流会の様子1



交流会の様子2



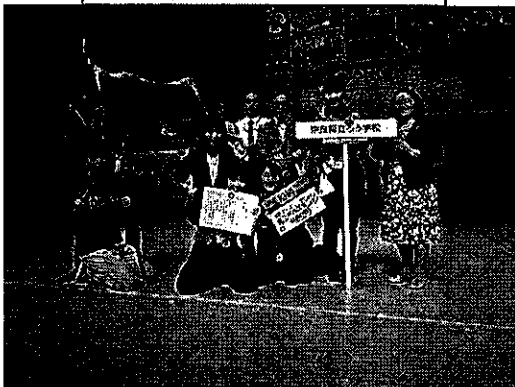
4 第5回大会の開催

来年秋の開催を見据え、今後、手話パフォーマンス甲子園実行委員会(来年2月開催予定)にて検討を行うこととする。なお、よりよい大会を目指し、手話パフォーマンス甲子園実行委員会の各委員や関係団体、出場チーム等からいただいた今回の大会のご意見等を踏まえ、次回大会の開催に向けて改善に努めていきたい。

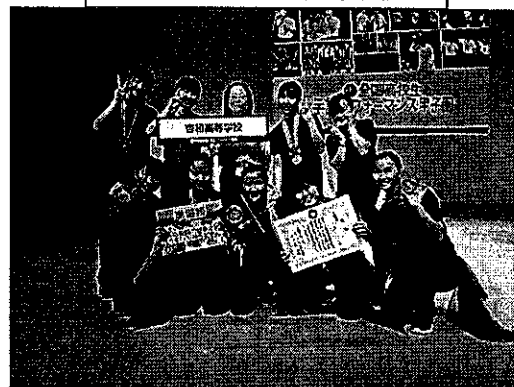
5 その他

- (1) 大会当日は、来場できない全国の方々を対象に、大会の様様について公式動画チャンネル (You Tube) 上でライブ中継を行った。
- (2) ステージ中央に大型LEDモニターを設置し、登壇者や手話通訳者、要約筆記を一体的に表示させた。また、高校生の演技中は手話通訳及び要約筆記は行わないが、演技中の台詞や歌詞等には字幕を必ず表示させることをルール化した。さらに、ステージ両袖にはステージの拡大映像 (演技者や手話等をアップで見ることが可能) 及びステージ上で現在何が行われるかが分かる文字情報を表示するスクリーンを新設した。その他、視覚障がい者向けの音声ガイドの実施や、ヒアリング (磁気) ループの案内を行うなど、共生社会を目指す大会の取組の一環として、情報保障の充実を図った。
- (3) 障がい者や怪我等で歩行が大変な方、妊婦の方などが利用できるハートフル席を会場の1階席前方スペースに用意した。(ステージ上の手話や要約筆記を間近で見ることできることや、入館後に階段を昇り降りすることなく着席することが可となる席。)
- (4) 絵かきの門 秀彦 (かど ひでひこ) 氏 (聞こえる人) が審査員の予定だったが、やむを得ない事情により、大会当日鳥取県に来ることができなくなったことから、1 (5) のとおり、急遽、審査員を古川 鈴子氏に変更した。
- (5) 手話パフォーマンスグループ HANDSIGN (ハンドサイン) の『僕が君の耳になる』を公式テーマソングに採用し、プロモーションで活用した。また、大会中、同曲のプロモーション映像を放映するとともに、リーダーの TATSU 氏に同曲に込められた思いを語ってもらった。
- (6) 大会当日、鳥取駅におもてなしブースを設置し、大会及び会場の案内や観光PRを行った。
- (7) 11月5日 (日) 午後4時30分から日本海テレビで60分間の大会のダイジェスト放送を行う予定。

優勝した奈良県立ろう学校



準優勝した杏和高等学校



平成28年度就労系障害福祉サービス事業所の工賃実績について

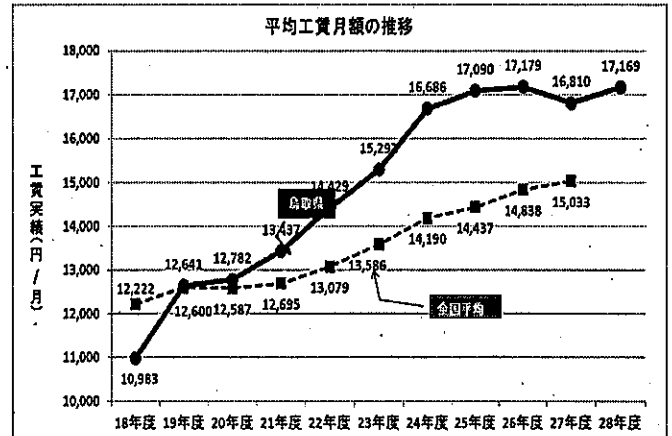
平成29年10月6日
障がい福祉課

鳥取県では、平成19年度に工賃3倍計画を策定し、県内の就労系障害福祉サービス事業所等で働く障がいの者の工賃水準を、平成18年度の月額約11千円から月額33千円以上の3倍とすることを目指し、障がいのある方が地域社会の中で自立した質の高い生活を送ることができるよう支援を行っています。このたび、平成28年度の工賃がとりまとまりましたので、その結果をお知らせします。

記

1 平成28年度工賃の状況

- 計画の対象である就労継続支援B型事業所115施設の県平均の工賃月額は17,169円。
- 前年度の16,810円から359円(2.1%)の増加。
- 工賃支払総額は初めて5億円を超えた。



※平成28年度の全国の平均工賃月額は、まだ公表されていません。
(平成27年度では全国で12位)

<平成28年度平均工賃月額が上がった要因>

- 工賃支払総額は前年度から約3千1百万円(6.6%)増加し、利用者延べ人数1,240人(4.4%)の伸びを上回ったため、平均工賃月額は、前年度から359円(+2.1%)の増加となった。
- 1時間当たりの平均工賃額は、215円となり、前年度と同額となっている。

工賃実績の推移：就労継続支援B型事業所

(単位：円)

	事業所数	工賃支払総額 ④	対前年伸び率 ①	利用者延べ人数 (毎月の利用者の 実数の集計) ⑤	対前年伸び率 ②	伸び率比較 ①-②	平均工賃月額 ④÷⑤	対前年伸び率	(参考) 時間額	対前年伸び率
平成18年度	111	217,262,617		19,781			10,983			
平成24年度	98	392,192,160		23,504			16,886		201	-
平成25年度	103	435,933,644	111.15%	25,509	108.53%	0.0262	17,090	102.42%	211	104.98%
平成26年度	107	454,324,391	104.22%	26,447	103.68%	0.0054	17,179	100.52%	213	100.95%
平成27年度	112	472,704,582	104.05%	28,120	106.33%	-0.0228	16,810	97.85%	215	100.94%
平成28年度	115	504,067,648	106.63%	29,360	104.41%	0.0223	17,169	102.13%	215	100.00%

※ 時間額の集計は平成24年度から実施。

(参考)

施設種別	工賃額		増減率(%)	
	27年度	28年度	27年度比	
就労継続支援A型事業所 (雇用型)	平均月額(円/月)	80,529	80,551	+0.0%
	時間額(円/時間)	731	752	+2.9%

※ 就労継続支援A型事業所は工賃算出対象施設ではないが、計画において工賃向上のための各種事業の支援対象となっている。

2 工賃3倍計画の概要

ア 工賃目標額 33,000円(平成18年度の平均工賃月額約11,000円の3倍)

イ 考え方 ・障がい者が地域で自立して生活するための最低収入を月10万円と設定(生活保護費相当)
・これと障害基礎年金2級相当月額(約66,000円)の差額を目標値に設定
(必要工賃月額=100,000円-66,000円=約33,000円)

3 今後の工賃向上に向けた県の支援策

- ・日本財団共同プロジェクトによる事業所支援
- ・東部の共同作業場(ワークコーポとっとり)について、高単価な作業が見込める、アッセンブリー作業への企業等への営業活動を強化する。
- ・中部での共同作業場の設置について検討する。
- ・御崎漁港内の水産加工品共同作業場への参加事業所を増やすため、施設外就労のマッチングを実施
- ・中部地域において、外食産業企業による積極的な障がい者の受入れに基づく本格的な農業経営が開始されることから、関係機関と連携して、障がい者の施設外就労の促進を図る。
- ・工賃向上環境強化事業の推進: 振興センターへの委託事業(受託作業内容の高単価な作業への転換促進支援、県内外販路拡大、物産展の開催等)
- ・農福連携推進事業の推進: 農福コーディネーターが事業所と農家とのマッチングをし、障がい者の農作業による就労を促進するとともに、農福マルシェを開催して取組の周知を図る。
- ・農福連携全国都道府県ネットワークに参加して更なる農福連携の展開を推進する。

4 その他

個別的就労系障害福祉サービス事業所の工賃の状況は、とりネットで公表。

鳥取県工賃の公表 (<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=96955>)

